

両国観光まちづくりグランドデザインの実現に向けた計画

---

## 第一編

**両国観光まちづくりグランドデザインの実現に向けて**

- |                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 1. 策定の目的                              | 01 |
| 2. 両国観光まちづくりグランドデザインの実現イメージ           | 02 |
| 3. 両国観光まちづくりグランドデザインの実現に向けた計画(全体フレーム) | 03 |

## 第二編

**基本方針と地域展開について**

- |                               |    |
|-------------------------------|----|
| 1. 両国地域の現状と課題                 |    |
| 施策展開のテーマ「両国川開き」における両国地域の現状と課題 | 04 |
| 施策展開のテーマ「両国博覧会」における両国地域の現状と課題 | 05 |
| 施策展開のテーマ「両国栈敷」における両国地域の現状と課題  | 06 |
| 2. 基本方針と計画スケジュール              | 07 |
| 3. 区分特性に応じた地域展開について           |    |
| 両国地域の各エリアの特性                  | 09 |
| 両国地域各エリアの観光まちづくりの方針           | 10 |
| Aエリア関連整備事業                    | 11 |
| Bエリア関連整備事業                    | 12 |
| Cエリア関連整備事業                    | 13 |
| Dエリア関連整備事業                    | 14 |
| 4. 重点事業                       | 15 |

## 第三編

**実現に向けた進め方**

- |                              |    |
|------------------------------|----|
| 1. 観光まちづくりの進め方               | 16 |
| 2. 両国観光まちづくりグランドデザインの到達目標と波及 | 16 |

## 参考資料

両国観光まちづくりグランドデザイン概要版

# 第一編 両国観光まちづくりグランドデザインの実現に向けて

## 1. 策定の目的

### (1) 策定の目的

両国観光まちづくりグランドデザインに掲げた「両国開花宣言」のもと、両国地域の豊富な資源を発掘し、磨き上げ、編集し、両国の魅力として効果的に発信する具体的な施策を示し、地域住民、事業者等と行政の協働により、川開きの賑わい、粋な文化、粋なおもてなしが感じられ、「粋に暮らし、粋に愉しむまち両国」の実現を目指した観光まちづくりを推進する計画とします。

### 両国地域の観光まちづくりの進め方を提示します。

両国の観光まちづくりは、ソフト事業を中心に必要なハード事業によって支える基盤づくりと、地域の方々の取組を積み上げながら進めていきます。両国地域のまちづくりの担い手のみなさんと、目標、方針、スケジュール等を共有し、連携を図りながら進めていくため、両国観光まちづくりグランドデザインの実現に向けた計画を策定します。

### 両国地域の観光まちづくりを実施するための体制を整えます。

両国の観光まちづくりは、区・行政、地域組織等、そして、一人ひとりの取組を積み上げることによって実現していくものです。そのため、まちづくりの目標や進捗状況、地域の方々の意見等の共有を図るための地域組織を立ち上げます。また、それぞれの地域の特性に応じたエリアを定め、事業に取組んでいきます。

### (2) 両国観光まちづくりグランドデザインのコンセプトと施策展開のテーマ

#### コンセプト

## 両国開花宣言 ～粋に暮らし、粋に愉しむまち両国～

- ・隅田川と竪川、川開きの賑わいと水辺の記憶がひろがるまち
- ・両国橋と回向院、受け継がれる鎮魂への想い、粋な文化と躍動感があふれるまち
- ・過去と未来が織りなす暮らしふりと「おもてなし」、心意気がうれしい、懐が深いまち

#### 施策展開のテーマ

### 両国川開き

- 両国川開きの賑わいの再生と創出
- まちの親水性の向上
- 街並みの修景と誘導

### 両国博覧会

- 地域資源の活性化と賑わい軸の強化
- 江戸の粋な文化の発信
- ものづくりの伝統の継承と発信

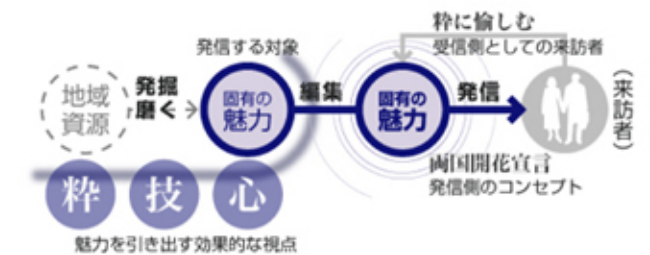
### 両国棧敷

- おもてなしの演出
- 取組の底上げと連携
- まち歩きの実践と回遊性の向上

### (3) 両国観光まちづくりグランドデザインの実現に向けてのポイント

#### ●粋・技・心の効果的な視点

「発掘→磨く→発信」するプロセスに、「編集」の工程を加え、「粋・技・心」の効果的な視点を大切に、両国の地域資源をより魅力的に発信します。



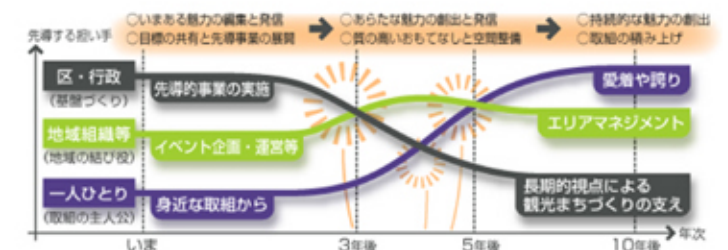
#### ●まち歩き観光を中心とした地域展開

両国川開き、両国博覧会、両国棧敷の3つのテーマの下、まち歩きを中心に、両国の地域資源の魅力を愉しんでもらう施策を展開します。

- まち歩きの拠点や賑わい軸の整備
- 水辺の賑わいゾーン、水辺の記憶ゾーンの創出
- イベントや観光ガイド等の充実
- 地域と連携した、地域資源の演出や、おもてなしの醸成

#### ●区が先導～一人ひとりが主人公へ

行政が先導しながら、地域組織等による展開を経て、一人ひとりが両国への愛着や誇りを持って参加できる体制づくりをめざします。



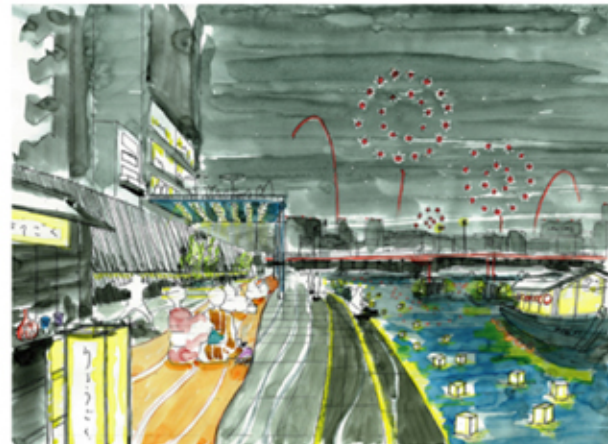
## 2. 両国観光まちづくりグランドデザインの実現イメージ

### まちの将来イメージを共有します。

親どころ、楽しみどころ、活躍のしどころがあふれ、粋に暮らすまちを育てていくために、地域の方々と将来イメージを共有し、観光まちづくりグランドデザインの実現に向けて取り組んでいきます。



隅田川テラスが新たな両国の玄関や水上交通の拠点、まち歩き  
の拠点となるように、イベント等を開催して賑わいをつくり  
ます。さらに、散歩やジョギング、カフェやランチスペースなど、  
地域のみなさんと両国を訪れる人が一緒に楽しめるような『暮  
らしと賑わい』が感じられる水辺をつくります。



地域のみなさんと協力する隅田川にちなんだイベントや舟運  
の活用を通じて、鎮魂と復興への想いから始まった両国川開き  
の賑わいが感じられる水辺をつくります。



江戸の両国橋東広小路の賑わいが感じられる屋台イベント等  
により、江戸の旅の玄関口としての賑わいを今に伝えます。両  
国橋界隈で発展した食文化、浮世絵などの芸術文化など、代々  
伝わる粋な技や心が楽しめるまちをつくります。



河川や堀割といった水辺に恵まれた両国の暮らしぶりが感じ  
られるまちづくりをめざします。南割下水（北斎通り）などの  
旧堀割を思わせるような演出や、沿道の街並みをつくります。

### まち歩きを中心とした地域展開を進めていきます。

両国川開き、両国博覧会、両国棧敷の3つのテーマの下、両国地域にひろがる資源を生かし、まち歩きを中心とした地域展開に取  
組んでいきます。

#### 水辺の賑わいを愉しむ

イベントや舟運観光などで水辺の賑わいを気軽に愉しめ、水辺  
を感じながらゆったりと休める環境づくりをめざします。



#### まちなかの賑わいを愉しむ

地域の祭り、相撲、葛飾北斎、江戸に由来する食文化など、両  
国の粋・技・心が感じられる地域ぐるみのイベントを愉しめるよ  
うなしかけづくりを展開します。



#### 記憶と物語を伝える

地域の歴史文化や、伝承されてきた史実、両国を舞台に描かれた  
物語など、両国の魅力を広く紹介していきます。



#### おもてなしを愉しむ

地域商店での買い物、食事、まち歩きなどを愉しみながら、両  
国らしいおもてなしや交流が愉しめるよう、おもてなしの心を育て  
ます。



#### 暮らしぶりを愉しむ

しっとりとした路地や庭先のみどり、ものづくりと暮らしが隣  
り合う街並みなど、両国らしい暮らしぶりと心意気をまちづくりに  
活かします。



# 3. 両国観光まちづくりグランドデザインの実現に向けた計画（全体フレーム）

## 第一編：両国観光まちづくりグランドデザインの実現に向けて

### 1. 策定の目的

両国地域の観光まちづくりの進め方を提示します。  
両国地域の観光まちづくりを実施するための体制を整えます。

#### 施策展開のポイント

#### ● 粋・技・心の効果的な視点

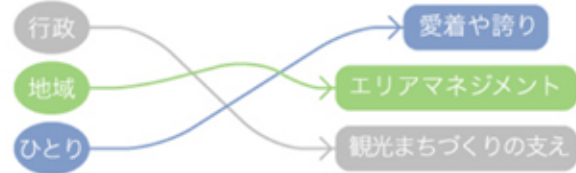
粋・技・心の効果的な視点を大切に、両国の地域資源を、より魅力的に発信する。

#### ● まち歩きを中心とした地域展開

両国川開き、両国博覧会、両国棧敷の3つのテーマの下、まち歩きを中心に、両国の地域資源の魅力を愉しんでもらう施策を展開する。

#### ● 区が先導～一人ひとりが主人公へ

ソフト事業を先導し、必要なハード事業を実施する。また行政が先導しながら、地域組織等による展開を経て、一人ひとりが両国への愛着や誇りを持って参加できるような体制をめざす。



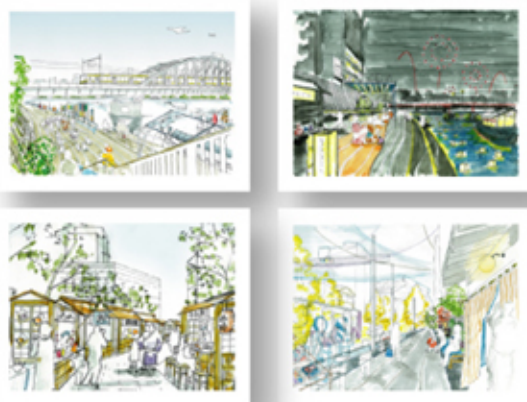
#### グランドデザインのコセプトと施策展開のテーマ

### 両国開花宣言 ～粋に暮らし、粋に愉しむまち両国～

#### 施策展開のテーマ

- 両国川開き**
  - 両国川開きの賑わいの再生と創出
  - まちの親水性の向上
  - 街並みの修景と誘導
- 両国博覧会**
  - 地域資源の活性化と賑わい軸の強化
  - 江戸の粋な文化の発信
  - ものづくりの伝統の継承と発信
- 両国棧敷**
  - おもてなしの演出
  - 取組の底上げと連携
  - まち歩きの充実と回遊性の向上

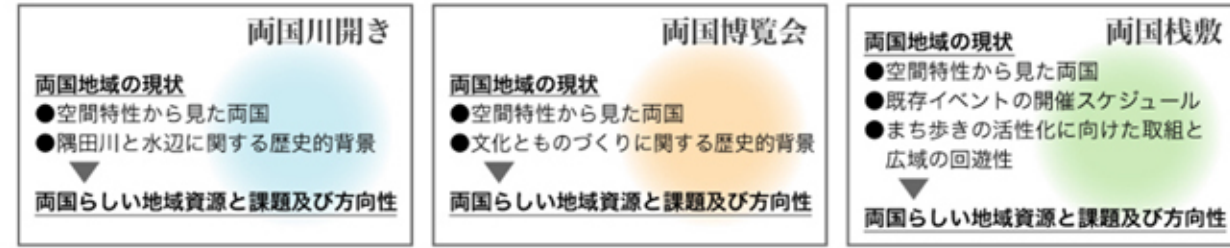
### 2. 両国観光まちづくりグランドデザインの実現イメージ



## 第二編：基本方針と地域展開について

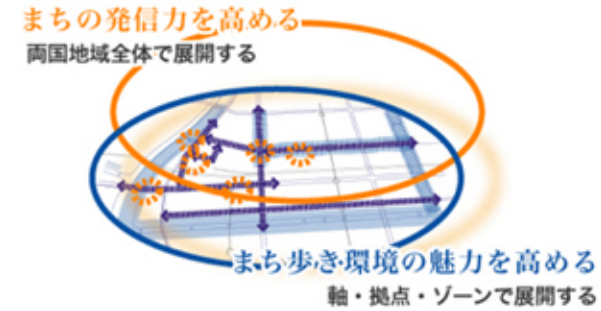
### 1. 現状と課題の整理

施策テーマごとの現状と課題の整理



### 2. 基本方針と計画スケジュール

実現に向けての基本方針と、具体的な計画及びスケジュールを定める。  
事業展開は、「まちの発信力を高める」ソフトを中心とした事業を、「まち歩き環境の魅力を高める」ハードを中心とした事業で支え、相互に連携を図りながら進めていく。  
スケジュールは、両国のまちの動向に合わせ、概ね短期（H28年度 すみだ北斎美術館開館まで）、中期（H32年度 東京オリンピック・パラリンピックまで）、長期（将来構想）の3つの期間を目標に計画する。



### まちの発信力を高める ～両国の粋・技・心の発掘、磨き上げ、編集、発信と、積み上げ～

#### 事業展開の考え方

3つの施策展開のテーマ「両国川開き」、「両国博覧会」、「両国棧敷」から、それぞれ「水辺の賑わいの再生と創出」、「地域資源の活用と発信力の強化」、「おもてなし気運の醸成とまち歩き観光の促進」をめざし、まちの発信力を高めるソフトを中心とした事業を展開する。  
地域展開にあたっては、両国地域全体で、既存のイベントや地域の観光まちづくりの取組を踏まえ、「粋・技・心」の効果的な視点を通して発掘し、磨き上げ、編集し、発信する。

#### 事業展開

- 事業展開01 水辺の賑わいの再生と創出
- 事業展開02 地域資源の活用と発信力の強化
- 事業展開03 おもてなし気運の醸成とまち歩き観光の促進

### まち歩き環境の魅力を高める ～しっとりとした街並み、歴史ある文化、暮らしを魅せる～

#### 事業展開の考え方

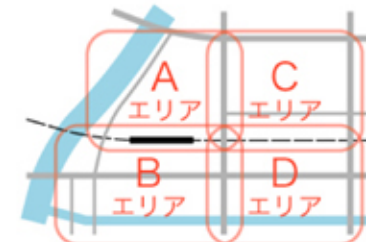
来訪者が安心して、かつ粋にまち歩きを愉しめる環境を整えていくため、まち歩き環境の素地となる「賑わい軸」、「まち歩きの拠点」、「水辺の賑わいゾーン・水辺の記憶ゾーン」の3つを事業展開の骨組みとし、それぞれについて、まち歩き環境の魅力を高めるハードを中心とした事業を展開する。  
地域展開にあたっては、地域の特性や地域資源、回遊動線、既存の取組等を踏まえ、エリアごとに具体的な方向性を共有しながら展開する。

#### 事業展開

- 事業展開01 賑わい軸
- 事業展開02 まち歩きの拠点
- 事業展開03 水辺の賑わいゾーン・水辺の記憶ゾーン

### 3. 区分特性に応じた地域展開について

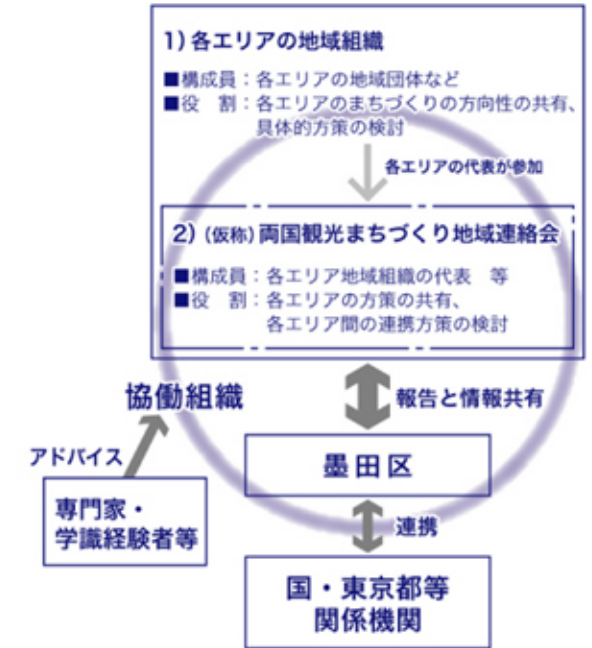
両国地域をひとつのまとまりとして考えるとともに、より地域に根ざした、固有の魅力を生かすために、両国地域を地域特性に応じたエリアにわけて具体的な事業展開を進めていく。



## 第三編：実現に向けた進め方

### 1. 観光まちづくりの進め方

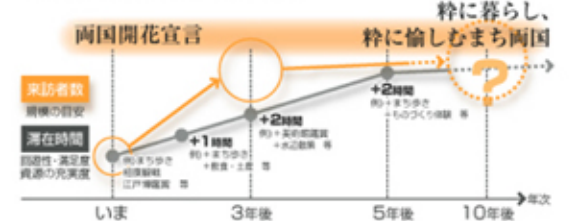
グランドデザイン関連事業の地域展開は、ソフト事業とハード事業の連携を図りながら、地域の力と、取組を積み上げながら進めていく。



### 2. 両国観光まちづくりグランドデザイン の到達目標と波及

目に見えない取組の積み上げを、客観的数値によって示すことで、取組の成果を評価し、両国にふさわしい観光の規模、かたちを共有する。

#### 両国にふさわしい観光の将来像



両国観光まちづくりは、地域のみなさんとの持続的なまちとの関わりにより、観光振興に留まらず、両国地域全体の魅力の向上につながる。

